



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 百十四銀行
 コード番号 8386 URL <https://www.114bank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 綾田 裕次郎
 (氏名) 佐久間 達也
 特定取引勘定設置の有無 無

TEL 087-836-2721

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	17,673	△8.8	△3,309	—	△3,397	—
2020年3月期第1四半期	19,376	△6.5	2,593	△32.0	1,559	△34.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 13,661百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △68百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△115.08	—
2020年3月期第1四半期	52.83	52.80

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2021年3月期第1四半期の潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,189,869	262,309	5.1
2020年3月期	4,953,946	249,831	5.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 262,268百万円 2020年3月期 249,790百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計—期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	△18.3	3,500	△32.5	2,300	△21.7	77.90
通期	67,000	△12.7	6,500	△45.8	4,000	△48.2	135.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P6「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	30,000,000 株	2020年3月期	30,000,000 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	478,189 株	2020年3月期	478,134 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	29,521,820 株	2020年3月期1Q	29,511,754 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

2021年3月期 第1四半期決算 補足説明資料

1. 2021年3月期 第1四半期累計期間の損益状況(単体)	7
2. 預金等・預り資産の状況(単体)	8
3. 貸出金の状況(単体)	8
4. 金融再生法開示債権の状況(単体)	9
5. 時価のある有価証券の評価差額(単体)	10
6. 自己資本比率(国内基準)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経常収益は、国債等債券売却益の減少によるその他業務収益の減少などにより、前第1四半期連結累計期間比17億3百万円減少して176億73百万円となりました。

また、経常費用は、株式等償却の増加によるその他経常費用の増加などにより、前第1四半期連結累計期間比42億円増加して209億83百万円となりました。

この結果、経常損益は、前第1四半期連結累計期間比59億2百万円減少して33億9百万円の損失となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前第1四半期連結累計期間比49億56百万円減少して33億97百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金預け金の増加などにより、前連結会計年度末比2,359億円増加して5兆1,898億円となりました。また負債は、預金の増加などにより、前連結会計年度末比2,234億円増加して4兆9,275億円となりました。

なお純資産は、前連結会計年度末比124億円増加して2,623億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2020年5月15日公表の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	652,010	776,583
買入金銭債権	29,264	27,547
商品有価証券	5	—
有価証券	1,259,729	1,292,396
貸出金	2,847,316	2,924,435
外国為替	9,793	11,496
リース債権及びリース投資資産	24,486	23,664
その他資産	75,175	82,865
有形固定資産	37,319	37,228
無形固定資産	5,897	5,802
退職給付に係る資産	3,351	3,292
繰延税金資産	5,995	870
支払承諾見返	20,996	20,523
貸倒引当金	△17,396	△16,837
資産の部合計	4,953,946	5,189,869
負債の部		
預金	4,065,082	4,281,944
譲渡性預金	90,185	92,081
コールマネー及び売渡手形	34,782	32,548
債券貸借取引受入担保金	112,699	92,539
借入金	305,608	326,960
外国為替	296	188
その他負債	66,883	71,318
役員賞与引当金	29	—
退職給付に係る負債	1,836	1,553
役員退職慰労引当金	37	34
睡眠預金払戻損失引当金	364	328
偶発損失引当金	127	139
株式報酬引当金	80	91
繰延税金負債	—	2,204
再評価に係る繰延税金負債	5,103	5,103
支払承諾	20,996	20,523
負債の部合計	4,704,115	4,927,560
純資産の部		
資本金	37,322	37,322
資本剰余金	30,486	30,486
利益剰余金	173,374	168,793
自己株式	△1,999	△1,999
株主資本合計	239,184	234,603
その他有価証券評価差額金	15,048	30,072
繰延ヘッジ損益	△7,447	△5,535
土地再評価差額金	7,976	7,976
退職給付に係る調整累計額	△4,971	△4,848
その他の包括利益累計額合計	10,605	27,664
新株予約権	41	41
純資産の部合計	249,831	262,309
負債及び純資産の部合計	4,953,946	5,189,869

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自2019年4月1日 至2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自2020年4月1日 至2020年6月30日）
経常収益	19,376	17,673
資金運用収益	11,495	10,868
（うち貸出金利息）	7,397	6,816
（うち有価証券利息配当金）	3,958	3,924
役務取引等収益	2,705	2,575
その他業務収益	2,268	541
その他経常収益	2,907	3,688
経常費用	16,783	20,983
資金調達費用	1,615	812
（うち預金利息）	597	243
役務取引等費用	879	858
その他業務費用	899	499
営業経費	9,355	9,305
その他経常費用	4,033	9,508
経常利益又は経常損失（△）	2,593	△3,309
特別利益	5	53
固定資産処分益	5	53
特別損失	54	6
固定資産処分損	42	6
減損損失	12	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	2,543	△3,262
法人税等	984	135
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,559	△3,397
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	1,559	△3,397

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,559	△3,397
その他の包括利益	△1,627	17,059
その他有価証券評価差額金	△1,566	15,024
繰延ヘッジ損益	△18	1,911
退職給付に係る調整額	△42	123
四半期包括利益	△68	13,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68	13,661

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を算定すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮して算定しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大による貸倒引当金への影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大による貸倒引当金への影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

2021年3月期第1四半期決算 補足説明資料

1. 2021年3月期第1四半期累計期間の損益状況（単体）

当第1四半期累計期間の経常収益は、国債等債券売却益の減少などにより、前第1四半期累計期間比17億66百万円減少して155億1百万円となりました。

また、コア業務純益は、資金利益の増加や経費の減少などにより、前第1四半期累計期間比1億74百万円増加して29億96百万円となりました。

経常損益は、与信関係費用は減少しましたが、株式の減損処理に伴う有価証券関係損益の減少などにより、前第1四半期累計期間比59億3百万円減少して35億40百万円の損失となり、四半期純損益も50億35百万円減少して35億46百万円の損失となりました。

（単位：百万円）

	前第1四半期 累計期間（A） （2019年4月1日～ 2019年6月30日）	当第1四半期 累計期間（B） （2020年4月1日～ 2020年6月30日）	前第1四半期 累計期間比 増減額 （B）－（A）	前第1四半期 累計期間比 増減率 （%）	2021年3月期 中間期予想
経常収益	17,267	15,501	△ 1,766	△ 10.2	28,000
コア業務粗利益 ①	11,703	11,634	△ 69	△ 0.6	
資金利益	9,982	10,191	209	2.1	
役務取引等利益	1,308	1,206	△ 102	△ 7.8	
その他業務利益（除く債券関係損益）	413	236	△ 177	△ 42.9	
経費 ②	8,881	8,637	△ 244	△ 2.7	
コア業務純益 ①－②	2,822	2,996	174	6.2	
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	2,437	2,441	4	0.2	
債券関係損益 ③	954	△ 194	△ 1,148	－	
実質業務純益 ①－②＋③	3,777	2,802	△ 975	△ 25.8	
一般貸倒引当金繰入額 ④	△ 21	－	21	－	
業務純益 ①－②＋③－④	3,798	2,802	△ 996	△ 26.2	
臨時損益	△ 1,434	△ 6,343	△ 4,909	－	
うち不良債権処理費用 ⑤	2,482	295	△ 2,187	△ 88.1	
うち貸倒引当金戻入益（注） ⑥	－	226	226	－	
うち償却債権取立益 ⑦	218	272	54	24.8	
うち株式等関係損益 ⑧	563	△ 6,625	△ 7,188	－	
経常利益（△は経常損失）	2,363	△ 3,540	△ 5,903	－	3,000
特別損益	△ 53	△ 5	48	－	
法人税等合計	820	△ 0	△ 820	－	
四半期純利益（△は四半期純損失）	1,489	△ 3,546	△ 5,035	－	2,000
有価証券関係損益 ③＋⑧	1,517	△ 6,819	△ 8,336	－	
与信関係費用 ④＋⑤－⑥－⑦	2,243	△ 203	△ 2,446	－	

（注）2021年3月期第1四半期累計期間は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

2. 預金等・預り資産の状況（単体）

当第1四半期末の預金等残高は、2019年6月末比で法人預金は減少しましたが、個人及び公共預金が増加したことにより、1,269億円増加して4兆3,872億円となりました。

また、当第1四半期末の預り資産残高は、2019年6月末比で投資信託、一時払保険及び金融商品仲介が減少したことにより、165億円減少して3,009億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2020年6月末	2019年6月末比	2020年3月末比	2019年6月末	2020年3月末
預金等(注)	43,872	1,269	2,188	42,602	41,683
個人	25,262	919	915	24,343	24,346
法人	16,674	△152	441	16,827	16,232
公共	1,935	503	830	1,431	1,104

(注) 預金等とは、預金及び譲渡性預金であります。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2020年6月末	2019年6月末比	2020年3月末比	2019年6月末	2020年3月末
預り資産(注)	3,009	△165	14	3,175	2,995
投資信託	882	△156	22	1,038	859
一時払保険	1,543	△6	4	1,550	1,538
金融商品仲介	584	△2	△13	586	597

(注) 預り資産は、各期末日における時価ベースの残高であります。

3. 貸出金の状況（単体）

当第1四半期末の貸出金残高は、2019年6月末比で個人向け貸出金が減少しましたが、法人向け及び公共向け貸出金が増加したことにより、1,057億円増加して2兆9,331億円となりました。

また、当第1四半期末の中小企業等貸出金残高は、2019年6月末比で25億円減少して2兆223億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2020年6月末	2019年6月末比	2020年3月末比	2019年6月末	2020年3月末
貸出金	29,331	1,057	777	28,274	28,553
個人向け貸出金	5,729	△126	△59	5,856	5,788
うち住宅ローン	5,409	△94	△31	5,503	5,440
法人向け貸出金(注1)	20,678	801	608	19,876	20,069
公共向け貸出金	2,923	382	228	2,541	2,694
中小企業等貸出金(注2)	20,223	△25	140	20,249	20,083
中小企業等貸出金比率	68.94%	△2.67%	△1.39%	71.61%	70.33%
信用保証協会保証付貸出金	886	375	357	511	529

(注) 1. 法人向け貸出金には、個人事業主向け貸出金を含めております。

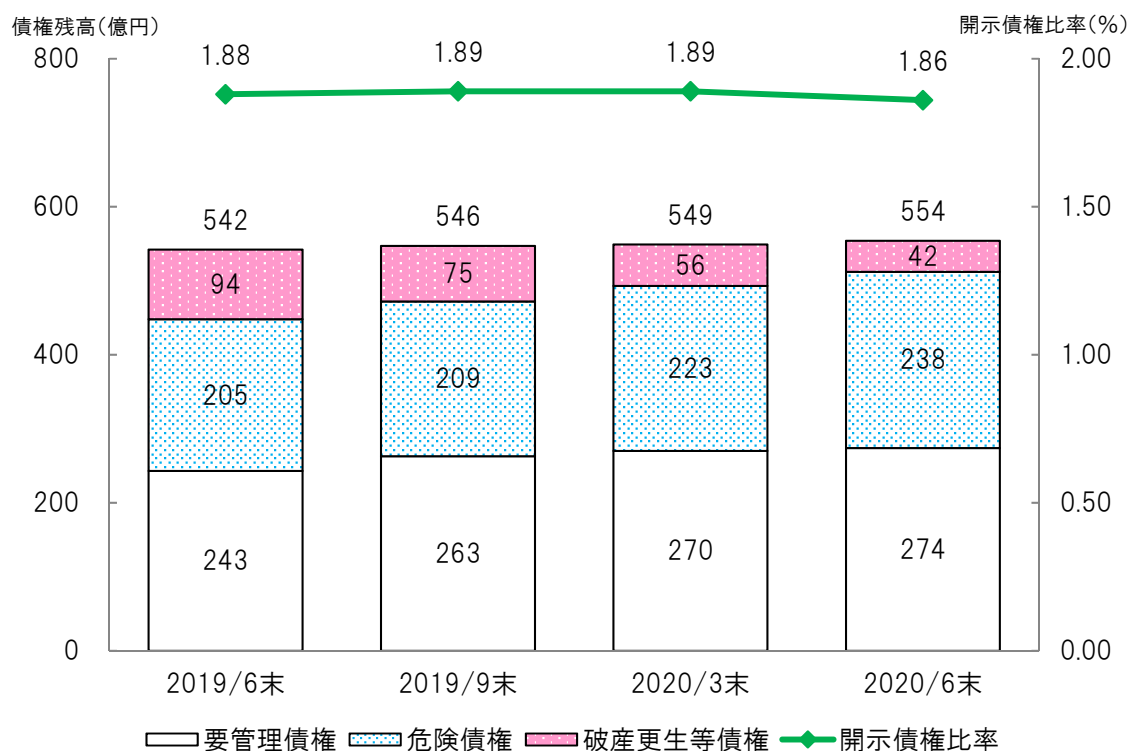
2. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。

4. 金融再生法開示債権の状況（単体）

不良債権に対しては、お取引先の経営支援に積極的に取り組みつつ、担保及び貸倒引当金により適正かつ十分な対応を行っております。

当第1四半期末の金融再生法開示債権は、2020年3月末比5億円増加して554億円となり、総与信残高に占める開示債権比率は、2020年3月末比0.03ポイント低下して1.86%となりました。

金融再生法開示債権	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2020年6月末	2019年6月末比	2020年3月末比	2019年6月末	2020年3月末
破産更生債権及びこれらに準じる債権	42	△ 52	△ 14	94	56
危険債権	238	33	15	205	223
要管理債権	274	31	4	243	270
開示債権合計	554	12	5	542	549
総与信残高	29,780	1,076	772	28,704	29,008
開示債権比率	1.86%	△ 0.02%	△ 0.03%	1.88%	1.89%

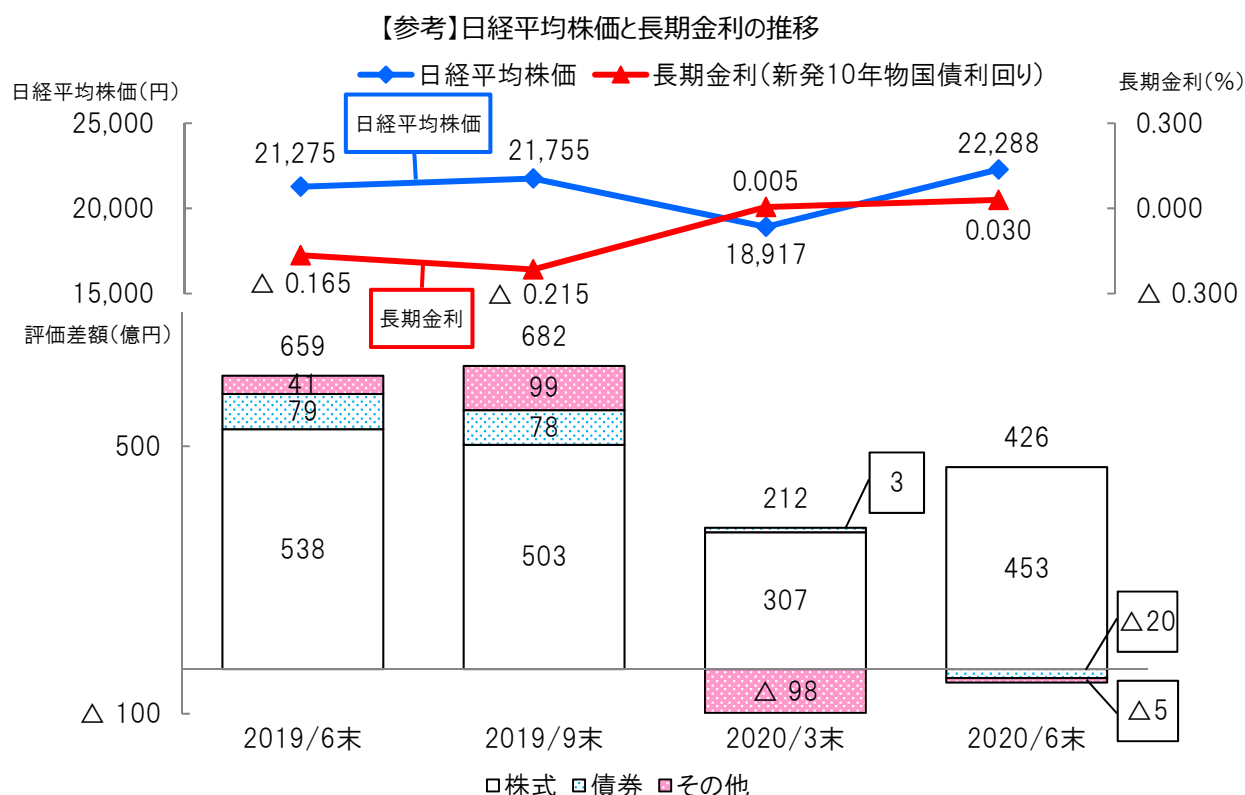


5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

当第1四半期末の「その他有価証券」の評価差額は、2020年3月末比214億円増加して426億円となりました。

	2020年6月末				2019年6月末				2020年3月末			
	時価	評価差額 ()内は2020年3月末比			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	12,874	426 (214)	646	219	9,984	659	752	93	12,549	212	561	349
株式	1,078	453 (145)	501	48	1,275	538	611	72	1,011	307	420	112
債券	7,910	△20 (△24)	36	56	5,568	79	79	0	7,528	3	43	39
その他	3,885	△5 (92)	109	115	3,140	41	62	20	4,010	△98	98	196

- (注) 1. 「その他有価証券」につきましては、時価評価しておりますので、評価差額は取得価額と時価との差額を計上しております。
 2. 「満期保有目的の債券」の保有残高はありません。



6. 自己資本比率（国内基準）

2020年6月末基準の連結自己資本比率（国内基準）は、2020年3月末比0.11ポイント低下して9.06%となりました。

(1) 連結自己資本比率（国内基準）

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2020年6月末	2019年6月末比	2020年3月末比	2019年6月末	2020年3月末
①連結自己資本比率(②/③) (注1)	9.06%	△ 0.06%	△ 0.11%	9.12%	9.17%
②連結における自己資本の額	2,342	△ 2	△ 31	2,345	2,373
③リスク・アセットの額 (注2)	25,837	139	△ 39	25,698	25,877
④連結総所要自己資本額	1,033	5	△ 1	1,027	1,035

(2) 単体自己資本比率（国内基準）

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2020年6月末	2019年6月末比	2020年3月末比	2019年6月末	2020年3月末
①自己資本比率(②/③) (注1)	8.67%	△ 0.05%	△ 0.12%	8.72%	8.79%
②単体における自己資本の額	2,219	△ 3	△ 34	2,222	2,253
③リスク・アセットの額 (注2)	25,596	129	△ 15	25,467	25,612
④単体総所要自己資本額	1,023	5	△ 0	1,018	1,024

- (注) 1. 自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第19号）に定められた算式に基づき算出しております。なお、当行は国内基準を適用しております。
2. 信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。